

2022年度生（2023年3月卒業）「二十歳の集い」式辞

主は共にいます

紫の皆さん、本日はお天気に恵まれ「二十歳の集い」を迎えられおめでとうございます。皆さんは感染症も終息に向かっていた頃に卒業されました。卒業後は周りの景色も随分変わり、今は新たな生活でそれなりの手応えを感じているでしょうか。

今も英和生は早朝祈祷会や朝の礼拝で「苦難が忍耐を生み、忍耐が練達を、練達が希望を生む」「試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えてくださいます」の聖書の言葉をよく選んで、お話をします。

そして「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。叩きなさい。そうすれば開かれる。」の言葉もよく引用します。卒業した皆さん、どうですか。今の皆さんにもマッチする言葉ではないですか。

実は聖書って面白くて、答えはありません。あなたの人生で確かめてごらんと心の扉を叩く言葉です。どうか一人一人の道は違っても、いつまでも感謝と喜びを忘れず、互いに愛し合う道を歩まれますようにお祈りして、式辞とします。

2025年1月4日

校長 大橋 邦一